

愛南町御荘地区沿岸津波対策検討委員会（第2回）

議事録【概要版】

日時：平成28年3月10日（木）13時25分～14時30分

場所：愛南町御荘文化センター

1. 開会

2. あいさつ

3. 議事

(1) 海岸保全施設の整備方針について

(事務局説明)

- ①第1回検討委員会の主な意見
- ②各検討対策案の概要・イメージ図
- ③検討対策案の比較
- ④優先整備方針

■質疑応答・主な意見

◇検討の前提

・住民合意形成等の際には、1つの案に絞るのか、それとも両論併記なども考えているのか。(松井委員)

→さまざまな整備方法を検討の上、委員の皆様からのご意見を踏まえて対応していきたい。(事務局)

◇検討対策案（案1と案2に関して）

- ・案1・案2については、技術的・安全面から検討から外しても良いのでは。(清水委員)
- ・案1は、実現性の問題、災害が発生した際に機能するのか疑問がある。案2は、湾内に水が滞留し、環境面で日常生活に大きな影響を生じさせることから難しい面があると思われる。(山口委員長、松井委員)
- ・漁業関係者等との話では、案1や案2は水質等に影響が出てくるので難しいという意見があった。(立花委員)

◇検討対策案（案3と案4：堤防の高さに関して）

- ・住民の立場からは、堤防が高くなったとしても、津波に対して効果が最大限発揮できる対策を期待している。(鷹野委員)
- ・景色が見られないのであれば、高いほど良いという意見もあった。(鷹野委員)
- ・栄養源が川から海へ流れないのは良くないという意見と人命救助のためなので堤防の高さが高くても仕方がないという意見があった。(立花委員)

◇検討対策案（全般）

- ・住民の声を聞きながら、ゆっくりと進めていただきたい。(立花委員)
- ・堤防は、海側に出す形式ではなく、陸側に整備するなど、環境に与える影響が少ない方法を検討して欲しい。(清水委員)
- ・高知県西部で、海岸堤防の高上げを実施しており、完成後の住民意向等を参考にすることが良いのではないかと。(松井委員)
- ・実際に大きな堤防を整備すると、生活に大きな影響が出る。人命・財産と日常生活への影響を天秤にかけることになるが、少しでも両者が両立するような計画を検討すべき。(山口委員長)

◇優先整備方針

- ・一体的に整備する必要がある、優先順位の検討の前に、整備を“する”のか“しない”のかを明確にすることが必要ではないかと。(清水委員)
- ・「事業の容易性」という記載は、簡単なところから優先して整備するといったイメージとなることから、記載内容を修正すべき。(中島委員)
- ・工事は何年ぐらいで完成する予定なのか。(鷹野委員)

→整備方針等が決まっていない中、現段階で具体的な年数を示すことは難しい。(事務局)

(2) 住民の合意形成方法について

(事務局説明)

- ①住民合意形成の対応方法
- ②アンケートの実施計画

■質疑応答・主な意見

◇住民の合意形成方法

- ・アンケートの回答にあたり住民に理解を深めてもらうために、各地区で説明会等をセットで行うべきでは。(松井委員)
- ・城辺、御荘地区だけでなく、町全体の住民を対象にした説明会を実施して、情報を周知するの

が良いのでは。防災無線だけでなく、回覧板を回すといった手法で情報提供して欲しい。(鷹野委員)

◇アンケートの実施方法等

- ・現地で堤防の高さを確認できるような方法を検討したら良いのでは。(松井委員)
- ・クロス集計ができるよう、地区や年齢等の項目も確認しておくことが必要。(松井委員)
- ・御荘湾は町民にとって重要であり、ホームページで浸水想定区域外の住民の意見を聞くことも必要ではないか。(松井委員)
- ・施設整備の完成が10年後、20年後になることを考慮すれば、中学生や高校生の意見を聞くことができれば良いのでは。(松井委員)

(3) その他

意見なし

4. 閉会

今回の意見を踏まえて、事務局で更なる検討を進め、次回検討会に反映したい。

—以上—